

2005年04月16日

## 前田文三さんに優秀賞 - 県遊技業協同組合設立40周年記念 - シンボルマークキャラ募集で

県遊技業協同組合(藤田昌之理事長)が設立40周年を記念して昨年12月から募集していた、シンボルマークキャラクターの審査がこのほど行われ、新宮市春日の前田文三さん(52)がデザインした「パッチー」が優秀賞に選ばれた。

前田さんは以前にも国土交通省の世界遺産オリジナルイメージで最優秀賞を受賞、新宮市役所防災キャラクターでおなじみの「しんちゃん」のデザインなども手がけており、今回は三度目の受賞となる。

今回応募したキャラクターのテーマは、地域社会に貢献する元気で明るい和歌山をイメージしたもの。前田さんは「和歌山とって思いついたのは、みかん、紀州犬、徳川吉宗などいろいろあったが、世界遺産であるこの豊かな自然-黒潮の海、山、そして明るい太陽を一つにまとめてみた。頭上に和歌山のWを付けて当地域をアピール。遊技業組合全国共通のキャラクター『パチ郎』の相対的存在として作った」と、デザインの細部について、熱心に語っていた。

授賞式は5月24日(火)午後1時30分、和歌山市手平の和歌山ビッグホエールで行われる。



和歌山県をイメージして作られた県遊技業協同組合のシンボルキャラクター「パッチー」